

平成30年度 事業計画

世界経済の先行きについては不確定要素もあるなか、国内については現在の世界経済の拡大基調による輸出増や2年後の東京五輪に向けた建設需要を含む内需拡大もあり、緩やかな回復基調が続くとされておりますが確実に景気回復が続くとまでは言えない状況にあります。

川越市では、少子高齢化により3人に1人が高齢者になると予測されておりますが、労働者人口の減少による深刻な人手不足から高齢者の一層の活躍が期待されます。地域において課題とされている介護予防・日常生活支援や空き家管理対策においては、シルバー人材センターの参画が期待されており、市をはじめとする各関係機関と情報を共有し連携を強化する必要性が高まっています。

当センターは現在、第3次中期5ヵ年計画により事業展開しております。期中の見直しも含め、さらなる会員の増強や就業機会の拡大、そして安全就業の徹底を軸に、これからも地域高齢者福祉の担い手として地域社会への貢献と発展に応えるべく、着実にシルバー事業を推進してまいります。

●平成30年度の重点実施事業

① 就業機会の拡大

「請負事業」・「派遣事業」・「職業紹介事業」の事業形態を有効に使い分け、発注者の満足度も高められるような就業機会の拡大に努めます。

また、会員の就業機会や意欲向上、後押しの拡大・拡充を図るため、各地域での「出張就業相談会」の回数を増やし、会員との密接な相談場所の確保に努めます。

② 安全就業の徹底・推進

事故が減少しないことから、さらに安全就業への意識を高めるため、業務内容や就業場所を幅広く選定し安全巡回を実施します。

また、多くの会員が利用する自転車の事故撲滅に向け、講習会への受講者の増加を図ります。

③ 会員の増強

会員の口コミによる入会効果が高いため、継続して「一人一声運動」を実施し会員の増強を図ります。

また、女性会員の活躍を推進する組織を立ち上げ、就業機会の拡大や交流の場を増やすことなどを通じて女性会員の増強に努めます。

1. 就業機会の拡大・強化

- (1) 請負事業や派遣事業、職業紹介事業を有効に活用し、就業機会の確保・拡大に努めます。
- (2) 「出張就業相談会」の開催を増やすことにより、就業率の向上に努めます。
- (3) 既存の就業先の見直しや新規開拓などにより、女性会員の就業機会の拡大に努めます。
- (4) 発注者への「満足度調査」を実施し、就業開拓やマッチングに活かします。
- (5) 会員からの地域情報などにより、就業先の拡大に努めます。
- (6) 社会情勢に合わせた就業機会の拡大を図るため、市や関係機関と連携を強化しながら調査研究に努めます。

2. 適正就業の実施

- (1) 契約書、仕様書の文言や就業形態の適正化に取り組みます。
- (2) 会員並びに発注者に請負事業や派遣事業、職業紹介事業など十分な説明を行い、適正な事業運営に取り組みます。
- (3) 長期間、長時間就業の是正に取り組み、多くの会員に就業機会を提供します。
- (4) 契約を長年更新している業務などについては、適正な就業形態を維持するため、現状を再確認します。

3. 安全就業の徹底・推進

- (1) 安全な就業環境づくりのため、業務内容や就業場所を幅広く選定し安全巡回を実施します。なお、事故発生後は再発防止を図ります。
- (2) 自転車乗り方講習会や交通安全講習会を実施し、交通事故の撲滅に努めます。
- (3) 全国統一事業である安全・適正就業強化月間（7月）に合わせ組織的に啓発活動を行い、安全就業の実践と事故の撲滅に努めます。
- (4) 「安全ニュース」による情報提供や、毎月1日の「安全の日」の実践により安全意識の高揚に努めます。
- (5) 健康管理意識を高め、健康診断の受診を促進します。
- (6) 「緊急連絡カード」の活用を促します。
- (7) 賠償事故の自己責任制度の導入を周知徹底し事故撲滅を目指します。

4. 会員の増強と普及啓発の促進

- (1) 会員の口コミによる「一人一声運動」を実施し、会員の増強を図ります。
- (2) 女性会員の活躍を推進する組織を立ち上げ、女性交流会などの事業を有効活用し、女性会員の増強に努めます。
- (3) 「出張入会説明会」を計画し、普及啓発と会員の増強を図ります。
- (4) 会報・ホームページ等を活用し、シルバー事業に関する情報発信に努めます。
- (5) 公共施設や広告チラシなど情報発信の方法などを調査・研究し、シルバー事業の効果的な紹介に努めます。
- (6) 市内各種イベントに積極的に参加し、シルバー事業の普及啓発に努めます。

5. 研修・講習内容の充実

- (1) 発注者や地域社会から一層の信頼を得られるよう、接遇や就業に関する研修会を実施します。
- (2) 事業理念などを含むシルバー事業の在り方や現況の理解促進のため、入会5年次研修会を開催します。
- (3) 事業理念に沿った効果的な組織体制の確立のため、地区長や班長・副班長、また仕事別グループリーダー・サブリーダーなどを対象とした研修会を実施します。
- (4) 技術・技能を必要とする職種について研修・講習会を実施し、後継者や新たな就業会員の育成に努めます。
- (5) 健康管理に関する意識を高めるため、健康管理教室を開催します。
- (6) AED（自動体外式除細動器）の取扱方法を含めた普通救命講習会を実施し、就業会員を中心に技能習得を図ります。

6. 運営基盤の強化と社会奉仕活動

- (1) 財政基盤の安定化と自主財源の確保に向け調査・研究するとともに、増加する事業実績に対応した請求事務などの効率化や迅速化に努めます。
- (2) 仕事別グループと事務局との連携を図り、就業体制の強化に努めます。
- (3) 地区長と班長を中心とした地域班組織の充実を図るとともに、会員との情報共有化に努めます。
- (4) 組織の活性化のため、各種事業や委員会への会員の参画を促進します。
- (5) 事業運営に係る諸費用を見直し、経費の節減に努めます。
- (6) コンプライアンスに基づく組織構築のため、事務局体制の強化に努めます。
- (7) 川越まつり事前清掃ボランティアなどの社会奉仕活動に取り組みます。
- (8) 地域の各種団体との連携を図り、地域社会への貢献に努めます。